

どんな検知器ならOK? NG? 記録は? メンテは?

安全運転管理者の業務が 大きくかわる

白ナンバー アルコールチェック義務化対策セミナー

飲酒運転防止に関する道路交通法施行規則 9 条改正
3 つの義務の解説と、包括的な対策について

<対象者> 企業経営者（使用者）、管理部長、安全運転管理者、衛生管理者、運航管理者、運行管理者、産業医

安全運転管理者は、

- I アルコール検知器を用いて酒気帯び確認をしなければならない
- II アルコールチェック実施の記録を1年間保存しなければならない
- III アルコール検知器の設備管理をしなければならない



白ナンバーアルコールチェック 義務化の背景と対策

道路交通法改正「3つの義務」。

これ以外にも、マイカー通勤者対策等、労働安全衛生法観点も加えて
「ポーズだけではない体制」「形骸化しない体制」についてご説明します。

- ・ 千葉県の飲酒運転事故と、日本の飲酒運転者年間 2 万人の関係
- ・ 緑ナンバートラックで飲酒運転が減らない理由
- ・ 白ナンバー職業別飲酒運転者から浮かび上がること
- ・ 使用者と安全運転管理者が絶対に理解しなければならない3つの義務化
- ・ 義務化に対応できるアルコール検知器の選び方
- ・ 500円のアルコールチェッカーと15万円のアルコール測定器の違い
- ・ アルコールインターロックは、該当機器として認められるか?
- ・ アルコール検知器義務化 鉄道、航空、トラック・バス・タクシーの事例
- ・ 社用車だけでいいのか? マイカー通勤者、電車通勤者はどうするのか?
- ・ アルコール検知器 認定制度はあるのか? 技術規格について
- ・ アルコール検知器 導入ハンドブック
- ～ 何のための、アルコールチェックか?～

■プレゼンター

東海電子株式会社 取締役執行役員
松本 剛洋



【開催方法】

ZOOMによるオンライン形式
(30分前よりご参加頂けるよう調整致します)

【申込み方法】

下記URLより登録をお願い致します。

1/19(水) : https://zoom.us/webinar/register/WN_u8g1JzAwSk-Btdx_z8ucNg

1/31(月) : https://zoom.us/webinar/register/WN_p3K1SUoXSV2wJo0hSCX0pw

1/19

(水)

13: 30~14: 30

1/31

(月)

13: 30~14: 30